

課題 12. 質点系の運動(2) 解答および解説

1. 質点 A, B, C からなる質点系の重心の位置座標を求めよ. A, B, C の質量はそれぞれ, $m_A = a$, $m_B = 2a$, $m_C = 3a$, 位置ベクトルは, $r_A = (3b, 3b, 3b)$, $r_B = (0, 0, 2b)$, $r_C = (b, 0, b)$ である.

質点系の重心は

$$x_G = \frac{m_A x_A + m_B x_B + m_C x_C}{m_A + m_B + m_C} = \frac{a \cdot 3b + 2a \cdot 0 + 3a \cdot b}{6a} = \frac{6ab}{6a} = b$$

$$y_G = \frac{m_A y_A + m_B y_B + m_C y_C}{m_A + m_B + m_C} = \frac{a \cdot 3b + 2a \cdot 0 + 3a \cdot 0}{6a} = \frac{3ab}{6a} = \frac{1}{2}b$$

$$z_G = \frac{m_A z_A + m_B z_B + m_C z_C}{m_A + m_B + m_C} = \frac{a \cdot 3b + 2a \cdot 2b + 3a \cdot b}{6a} = \frac{10ab}{6a} = \frac{5}{3}b$$

2. 質量 $2m$, m をもつ2つの質点を, 長さ $3a$ の軽い棒でつないだバトンがある. このバトンが, 角速度 ω で水平面内で回転し, その重心は鉛直上方 (z 軸方向) に一定の速さ W で上昇している. 質量 $2m$ の質点の座標 (x , y , z) を時刻 t の関数として表しなさい. なお, 時刻 $t=0$ において, 質量 $2m$ の質点は $(a, 0, 0)$ に, 質量 m の質点は $(-2a, 0, 0)$ にあるとする.

バトンの重心は, 質量 $2m$ の質点から

$$\frac{2m \cdot 0 + m \cdot 3a}{2m + m} = \frac{3am}{3m} = a$$

だけのところにある. したがって, 時刻 $t=0$ において重心は原点にあり, その位置は

$$X=Y=0, Z=Wt$$

で表される. 質量 $2m$ の質点は, 重心を中心として半径 a , 角速度 ω で水平面内で回転するので,

$$x = a \cos \omega t$$

$$y = a \sin \omega t$$

$$z = Wt$$

※テキストの解答は間違っている.

3. 重心の角運動量 L_G および相対運動の角運動量の和 L' を, それぞれ

$$L_G = X \times MV, \quad L' = \sum (x'_i \times m_i v'_i)$$

と定義する. このとき,

$$\dot{L}_G = X \times \sum F_i, \quad \dot{L}' = \sum (x'_i \times F_i)$$

であることを示せ. 各シンボルの意味は授業と同様である.

重心の角運動量を微分して,

$$\dot{L}_G = \dot{X} \times MV + X \times M\dot{V} = X \times M\dot{V} = X \times \sum F_i$$

もちろん, ここでは

$$M\dot{V} = \sum m_i \dot{v}_i = \sum \left(F_i + \sum_{j \neq i} F_{ij} \right) = \sum F_i$$

を使っています.

後半(相対運動の角運動量)については, 2つの方法を示しておきます.

(1) 質点系の原点のまわりの全角運動量を L とすると,

$$L = L_G + L'$$

であるから,

$$\dot{L} = \dot{L}_G + \dot{L}'$$

L の時間変化は外力のモーメントの和に等しい.

$$\dot{L} = \sum (x_i \times F_i)$$

したがって,

$$\begin{aligned} L' &= \dot{L} - \dot{L}_G = \sum (x_i \times F_i) - X \times \sum F_i \\ &= \sum (x_i \times F_i) - \sum (X \times F_i) \\ &= \sum ((x_i - X) \times F_i) \\ &= \sum (x'_i \times F_i) \end{aligned}$$

(2) L' を時間微分すると,

$$\dot{L}' = \sum (\dot{x}'_i \times m_i v'_i + x'_i \times m_i \dot{v}'_i) = \sum (v'_i \times m_i v'_i + x'_i \times m_i \dot{v}'_i) = \sum (x'_i \times m_i \dot{v}'_i)$$

ここで,

$$m_i \dot{v}'_i = m_i (\dot{v}_i - \dot{V}) = \left(F_i + \sum_{j \neq i} F_{ij} \right) - m_i \dot{V}$$

であるから,

$$\begin{aligned} \dot{L}' &= \sum x'_i \times \left[\left(F_i + \sum_{j \neq i} F_{ij} \right) - m_i \dot{V} \right] \\ &= \sum x'_i \times F_i + \sum \sum_{j \neq i} x'_i \times F_{ij} - \sum x'_i \times m_i \dot{V} \end{aligned}$$

であり,

$$\begin{aligned}
& \sum_{j \neq i} \mathbf{x}'_i \times \mathbf{F}_{ij} \\
&= \mathbf{x}'_1 \times (\mathbf{F}_{12} + \mathbf{F}_{13} + \dots + \mathbf{F}_{1n}) + \mathbf{x}'_2 \times (\mathbf{F}_{21} + \mathbf{F}_{23} + \dots + \mathbf{F}_{2n}) + \dots \\
&= (\mathbf{x}'_1 - \mathbf{x}'_2) \times \mathbf{F}_{12} + (\mathbf{x}'_1 - \mathbf{x}'_3) \times \mathbf{F}_{13} + \dots \\
&= \sum (\mathbf{x}'_i - \mathbf{x}'_j) \times \mathbf{F}_{ij} = \mathbf{0}
\end{aligned}$$

また,

$$\sum \mathbf{x}'_i \times m_i \dot{\mathbf{V}} = \sum m_i \mathbf{x}'_i \times \dot{\mathbf{V}} = \left(\sum m_i \mathbf{x}'_i \right) \times \dot{\mathbf{V}} = \left[\sum m_i (\mathbf{x}_i - \mathbf{X}) \right] \times \dot{\mathbf{V}} = \mathbf{0} \times \dot{\mathbf{V}} = \mathbf{0}$$

したがって,

$$\dot{\mathbf{L}}' = \sum (\mathbf{x}'_i \times \mathbf{F}_i)$$

これは“重心の周りの角運動量変化“が, “重心の周りの外力のモーメントの和“によって生じることを意味します. このように, ”式の意味“を考えるようにしましょう.

4. なめらかな水平面上で, 質量 m の2つの質点が軽いバネ(自然長: l_0 , バネ定数: k)によってつながれ, x 軸に沿って振動しながら x 軸の正の向きに運動している. 質点系には水平方向の外力が働いていないので, 重心は一定の速さ V で動いており, その位置は $X=Vt$ と表される. バネの長さ l は, 振幅 C , 角速度 ω で振動しており,

$$l(t) = l_0 + C \sin \omega t$$

と表される. 以下の問いに答えなさい.

- (1) 2つの質点の位置 $x_1, x_2 (x_1 < x_2)$ を時間の関数として表しなさい.

2つの質点の x 座標の差がバネの長さなので,

$$x_2 - x_1 = l_0 + C \sin \omega t \quad \text{①}$$

また, 重心の位置は

$$X = \frac{mx_1 + mx_2}{2m} = Vt \quad \text{②}$$

と表される. ①, ②より,

$$x_1 = Vt - \frac{1}{2}(l_0 + C \sin \omega t)$$

$$x_2 = Vt + \frac{1}{2}(l_0 + C \sin \omega t)$$

- (2) 重心に対する質点2 (x_2) の運動を考えて, 振動の角速度を求めなさい.

質点2の重心に対する相対座標は,

$$x'_2 = x_2 - X$$

運動方程式は

$$m \frac{d^2}{dt^2} x'_2 = -k(l - l_0) = -k[(x_2 - x_1) - l_0] = -k[(x_2 - X) - (x_1 - X) - l_0]$$

質点1と質点2は重心に対して対称に動くので

$$x_1 - X = -(x_2 - X)$$

したがって、

$$m \frac{d^2}{dt^2} x'_2 = -k[2(x_2 - X) - l_0] = -k(2x'_2 - l_0) = -2k\left(x'_2 - \frac{l_0}{2}\right)$$

であり、

$$m \frac{d^2}{dt^2} \left(x'_2 - \frac{l_0}{2}\right) = -2k\left(x'_2 - \frac{l_0}{2}\right)$$

あらためて、

$$y = x'_2 - \frac{l_0}{2}$$

と考えると、

$$\frac{d^2 y}{dt^2} = -\frac{2k}{m} y = -\alpha^2 y \quad \text{ただし、} \alpha = \sqrt{\frac{2k}{m}}$$

これは一般に

$$y = A \sin(\alpha t + \beta)$$

の形の解をもつ。したがって、

$$x'_2 = \frac{l_0}{2} + A \sin(\alpha t + \beta)$$

求める角速度は

$$\omega = \sqrt{\frac{2k}{m}}$$

5. 等しい質量 m をもち、一定の距離 r だけ離れた連星が、 xy 平面内を角速度 ω で回転しながら (z 軸を紙面上向きにとり、 z 軸の正側から見て反時計周りに回転しているとする)、直線 $y = a$ に沿って x 方向に一定の速さ V で動いている。重心運動と相対運動に分けることにより、連星の全運動エネルギーおよび原点の周りの全角運動量を求めよ。

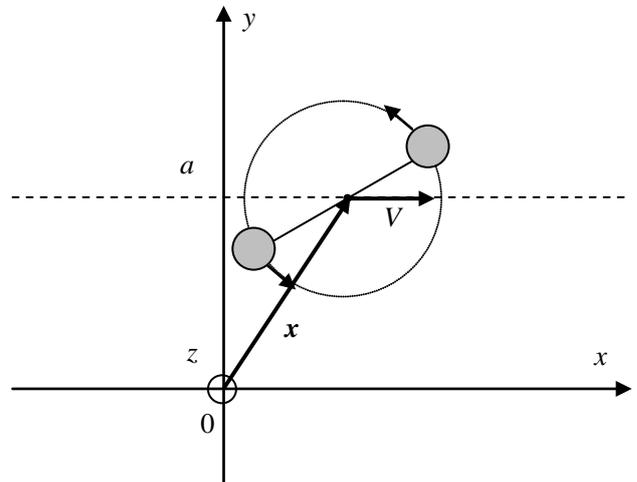
質量が等しいので重心は中間点にあり、これは一定の速さ V で運動している。連星はともに重心のまわりに半径 $r/2$ 、角速度 ω の円運動を行っている。

重心の運動エネルギー

$$K_G = \frac{1}{2} 2m \cdot V^2 = mV^2$$

重心に対する相対運動のエネルギー

$$K_R = \frac{1}{2} m \left(\frac{r}{2} \omega\right)^2 \times 2 = \frac{1}{4} m r^2 \omega^2$$



したがって、連星の全運動エネルギーは

$$K = K_G + K_R = mV^2 + \frac{1}{4}mr^2\omega^2$$

xy 平面内の運動なので、角運動量の z 成分のみ考える。

原点の周りの重心の角運動量 L_G は、

$$L_G = -a \cdot 2mV = -2amV \quad (\text{図形的定義から考えること})$$

重心の周りの角運動量 L' は、

$$L' = \frac{r}{2} \cdot m \frac{r}{2} \omega \times 2 = \frac{1}{2}mr^2\omega$$

したがって、全角運動量 L は

$$L = L_G + L' = -2amV + \frac{1}{2}mr^2\omega$$

※4, 5について、テキストは“換算質量”という考えを使っています。しかし、この解答で分かるように、とくに換算質量を使わなくとも素直に考えればできます。この授業ではシンプルに解くことを目指しています。